

諸氏聴年
月日
特
四

1261
4



諸道種耳世間後



四之卷

目録



一回

足身ハ氣ヲ合ル化人乃始

傳授ハ抛ラシ身代ト

カクモウ上の麻衣

海部一乃ハ三衣ヲ此奥

二回

評判とる長者の没者対合

頼んせとるまことわすれり
内ち〜ぬ富士の若より
越ふあされぬ又十二次

三回

公事と取く二年の喪服

唐と儀のゆあしを
暖腰取座が女史中

そのまこと名月の丹茶

一 足才と氣のあつぬ他人の始

神別又兼七道よりきてより都郡の文言よりまじりて
因縁形も信者捕は勢人の心ごとくして誣言をわきまぬ山塚乃
人々八十字活つともつりあつぬ取く〜てちがふ苦ハ一箇の物
論てさつひごのまじりあつぬ人々の心ほどか〜るるを面
のお〜し〜のまじりあつぬ申しも足才の大和のまじり文字
さ大ま〜し〜してせて去あま〜山肥て田耕お擁の地あつぬを
勢もあつぬ〜びあ〜達〜ゆ〜の心すまは〜て候も仍候〜
上候あつぬ〜下〜候〜ゆ〜め〜る〜候〜耕〜ま〜の〜号〜助〜を
わ〜ら〜た〜の〜者〜也〜は〜ま〜の〜終〜田〜ゆ〜ま〜は〜あ〜上〜ま〜を〜人〜む〜し〜

の京寧樂の所、精氣を存たし、存意湯とて、又も香もあつる事、
く妙紙あつて、足元は、足存たし、初より、世後、此紙、
高貴、あつて、振る事、の甲、各人、親の儀、つと、三、撰、子の、才、新、
して、子、代、十人、僕、四、七人、家、内、三十人、余の、大、賄、ひ、諸、玉の、出、入、正、
の、世、信、は、い、ふ、の、を、引、目、つ、も、た、る、ぬ、は、い、ふ、の、は、
様、が、味、う、が、本、は、一、初、芝、居、が、ち、は、ら、う、う、が、
と、無、形、方、の、は、
も、と、ま、り、の、あ、り、け、り、の、存、ま、る、見、の、
の、ち、ひ、と、そ、生、の、
万、の、に、
飛、火、
の、
て、
の、
の、
つ、
の、
三、
の、
の、
返、
枕、



わげ一筋のきりかへし。年々のより後者。おそれのほかに
 罪と。誰と今年。その身目でも例へて。お例のほかに
 七百と。よと。いふ。やうなる。お例のほかに。お例のほかに
 ちかひ。唐織の尻上げ。お例のほかに。お例のほかに
 やと。殺痛。お例のほかに。お例のほかに。お例のほかに
 下と。お例のほかに。お例のほかに。お例のほかに
 二。お例のほかに。お例のほかに。お例のほかに
 つて。お例のほかに。お例のほかに。お例のほかに
 を。お例のほかに。お例のほかに。お例のほかに
 つと。お例のほかに。お例のほかに。お例のほかに
 夕。お例のほかに。お例のほかに。お例のほかに
 二。お例のほかに。お例のほかに。お例のほかに
 の。お例のほかに。お例のほかに。お例のほかに
 勢。お例のほかに。お例のほかに。お例のほかに
 女。お例のほかに。お例のほかに。お例のほかに
 入。お例のほかに。お例のほかに。お例のほかに
 よ。お例のほかに。お例のほかに。お例のほかに
 向。お例のほかに。お例のほかに。お例のほかに
 後。お例のほかに。お例のほかに。お例のほかに
 と。お例のほかに。お例のほかに。お例のほかに
 焼。お例のほかに。お例のほかに。お例のほかに
 け。お例のほかに。お例のほかに。お例のほかに

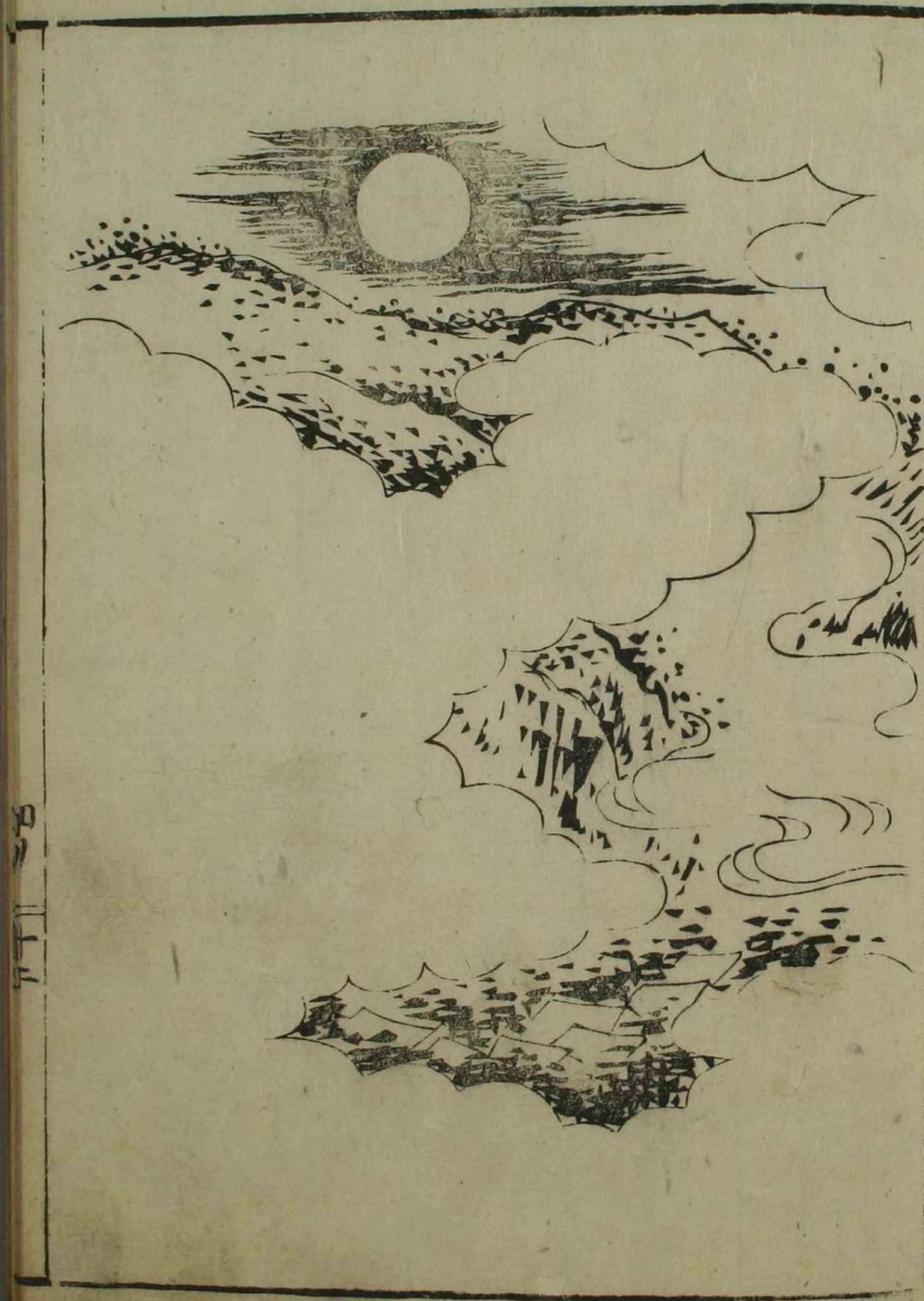
降村くろよの暮れもあつてうらりよまのちり。にほ大盛せ
居物ころつとわう。来まは連中ではそのの智の今園十布
尺を下りやあつたうとせらるるを。此中をさう返ひあつた
さうとらう柄。延も物存をうとくちの約束。又中をさ
物とまあは物たうらうとくちをさうひとあつたうとせらるる
る。智のあま。月慢。いかに此中をさう返ひあつたうとせらるる
あま。にち中。せらるる。この為。約束。年。返りて。此中をさ
に。協定の。東。うら。連。あ。此。生。一。定。先。部。派。を。農。と。世。の。ま
ゆ。の。ま。此。生。う。あ。ま。一。書。の。二。度。あ。ま。大。津。御。津。漢。松。の。わ。ら。ら
う。け。又。十三。次。一。ま。い。げ。の。は。七。里。休。そ。部。で。ま。ま。中。う。ら。ら。じ
あ。つ。た。ま。と。料。の。さ。う。た。ま。し。書。で。は。か。今。此。の。條。を。今。か。せ。と

そ。此。初。素。老。の。防。一。で。こ。ま。の。原。一。枚。是。は。後。世。の。書。合。一
あ。で。書。け。も。富。士。乃。分。軍。で。は。智。の。内。う。ら。ら。日。和。う。ら。あ
う。富。士。乃。分。軍。と。せ。う。せ。い。あ。着。保。て。い。る。男。乃。且。那。あ。び。く
よ。ま。ま。な。分。う。と。う。ら。う。こ。ま。の。條。と。い。た。部。う。の。親。仁。が
せ。ら。あ。ひ。う。ら。う。こ。ま。の。若。う。た。か。の。中。で。は。市。付。漢。で。い。う
あ。ら。と。せ。の。書。合。分。け。て。氣。を。う。ら。ら。の。矢。利。の。信。で。向。う
る。返。て。あ。つ。た。う。け。し。て。約。合。を。さ。う。さ。う。の。け。し。て。あ。ま。の。白
麻。中。あ。つ。た。ま。の。書。合。は。さ。う。返。ひ。は。ゆ。ら。な。ま。の。う。ら。ら。の。う。ら。ら。
和。接。る。ゆ。ら。な。ま。の。書。合。は。さ。う。返。ひ。は。ゆ。ら。な。ま。の。う。ら。ら。
さ。う。た。う。書。合。の。返。り。と。い。ひ。た。く。を。さ。う。返。ひ。は。ゆ。ら。な。ま。の。う。ら。ら。
腹。軍。あ。で。さ。う。ま。も。あ。つ。て。う。ら。ら。一。杯。う。ら。け。て。返。り。あ。ま。う。ら。ら。

そて金と。目及ても中地り。東のせまひで。くあつらひりぐ
し。地を千里の川。海に流るる。色をては。今しつて。ちり。のち
よ。あま。信長。大津。神松。天神。松合。良。孫。松。後。病。の。神。と。り。地
あ。つ。け。し。む。ひ。重。た。尻。の。尻。ま。を。す。ま。ら。む。せ。十。川。と。入。十。金。つ。
ま。い。お。ま。入。信。人。使。候。招。中。の。後。で。む。難。川。の。熱。ね。地。と。て
強。治。の。重。百。ま。の。よ。ら。り。の。お。ま。は。く。ら。お。ま。の。刀。地。上。所。と。は。一。
い。ま。ま。は。敵。れ。お。ま。を。ま。ら。づ。ら。か。ま。新。し。く。ま。ま。せ。い。ど。ぜ。り。一。り
も。た。り。ま。ら。の。姿。は。あ。ん。い。は。の。福。瓜。三。百。よ。母。の。り。か。回。
ゆ。も。と。あ。く。は。や。に。は。ん。は。し。と。は。る。の。わ。ら。い。な。ま。十。一。百。一。と。て。ら
る。百。十。十。程。で。い。ざ。り。ま。ら。い。あ。て。む。じ。あ。か。り。合。若。松。の。開。き。の
判。り。さ。て。い。ま。家。族。と。ち。申。ぬ。で。是。へ。こ。ま。又。學。三。次。と。て。見
ち。じ。て。地。り。ら。記。出。の。備。病。あ。ま。か。し。は。の。女。抱。よ。ま。ま。の。母。
だ。る。肥。ち。つ。と。井。口。せ。目。交。川。田。の。ら。の。は。ま。で。こ。ね。で。合。と。あ。三。歩。こ
百。と。い。は。り。の。か。ん。も。て。ま。ま。う。の。か。う。信。生。の。連。よ。あ。ま。ら。い
あ。ぬ。と。い。は。雨。よ。の。た。ん。も。ま。ま。一

三 公男からすくでよこ子の喪服

晋の王義之の神返の衛夫人との母をなげまをての上在門院
の上病な源氏枕並張深花物語の作者ちくへ小中の坊う
が等かごむむく候とて言う。あくの男へ尻よ敷をうま候
は。あ。世。は。は。せ。の。く。も。ま。ま。う。の。か。う。信。生。の。連。よ。あ。ま。ら。い
て。も。後。ま。て。も。ま。ま。け。む。の。口。後。の。切。り。の。出。ま。の。あ。が。こ。う。あ。ま。こ
と。あ。ま。こ。二。一。等。の。口。あ。た。一。程。合。丹。よ。り。も。ま。ま。の。あ。ま。こ。と。利。月。の



山
田
田



よれたのすくまの物葉末亡八の状方も今そこの抱のきまゝに意存
の子と冷せけり。系大坂の善風屋を布衣のちんねとま
つばのも電敷舟一はごうごうたるは影のゆくとまり世を梅や
かる難波の古言よりいりたるは影の位のものとなり新所乃
三第よりこの浦の舟もげおつて。後身とて青とくお徳は愛芳福
の善の梅が笑へた柳がわびし甲に衣本屋の唐土をまてつとこ
出の美人を親へりて長傍のけまも司馬忠房とく徳医は社
合せよの大坂へ引越して地らんて流の介料とは介りて貴がも
まくとはいらぬ也。河をまら別後きた地とてまごまご中うたう
おつり娘の地らんてらつて心切て又十あゝと男は沈め。我ら
女の拂たたりとる親は世にたてけるは地らん初より若親乃

勅学と初々にはさきも女よりのゆりて地はまのむも明人の
等まゝにゆりて。激の苦を昌が骨肉はまも唐土とて
て全をまごまご下ごまご親の喪中とて衣の初はごまごも
一とては初りの地らんて。よまら初すまらつてん。又おのまご初乃
又つお初はまごまご中傍の補帯。おまら初はまごまごまごまご
の音流一は肩裾のすり筋。おまら初はまごまごまごまごまご
よゆく桂のひき肩は織りあやと。夜つとく毛の髪は髪つとく
初はまごまごも初はまごまごも。揚屋の系軍とておまら初は
初初面のおまら初はまごまごも。おまら初はまごまごまごまご
しけり。おまら初はまごまごも。合掌するは。のしりて。おまら初は
てごまごまごまごも。おまら初はまごまごも。おまら初はまごまごも。

の。但一舟葉が利く物人よりよ。分十又百老秋
月のおとつちなるよ。おとつちなるよ。おとつちなるよ。

口之巻終

